

自然学習講座

テーマ：かつしか生きものめぐり～葛飾区の干潟編～

日時：令和5年9月30日(土) 10時から12時まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：20人(小学生以上)

申込開始：令和5年8月25日(金)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和5年8月27日(日)まで電話で受付し、応募者より抽選。



アシハラガニ

※小学生の方は、保護者の方と一緒にご参加ください。
 ※野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
 ※長靴、軍手、着替えをお持ちください。

干潟に生息する様々な生きものを観察し、干潟の大切さを学びます。

イベント・ガイドウォーク

かわせみフェスティバル 9月10日(日) 10時～15時

生きもの観察会やクラフト体験、カワセミが生息する他の公園の紹介や地元の施設によるポスター展示等を行います。会場は水元かわせみの里。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス	水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ) 金町駅南口→水元公園→金町駅南口	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口 (金61系統)
バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。	水元かわせみの里下車 徒歩1分	水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



Twitter

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和5年 7月20日
(通算第196号)

水元小合溜の生きもの：186

オオヒラタシテムシ

コウチュウ目シテムシ科

体長 18～23mm

時期 4～10月

成虫▼

鈍い光沢のある黒色、
平たい体が特徴。



幼虫▶

成虫と同じく、地表を歩きまわって死骸を食べる。

『死』を循環につなげるシテムシ

シテムシは漢字で『埋葬虫』とも書き、産卵の際には、死骸の肉を丸めて地中に埋め、幼虫の食糧とします。死骸を食べ、さらには土に埋めるその生態は、死骸を分解して土に還す大きな手助けとなり、生態系の物質循環において重要な役割の一つを果たしています。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



7/1 ニイニゼミの羽化 羽化したばかりの際は体が白っぽいのが普通だが、この個体は褐色の色味が付いていた。



7/11 アオダイショウ 水元かわせみの里裏手の通路で発見。こちらを警戒し、何度か頭を突き出して威嚇してきた。



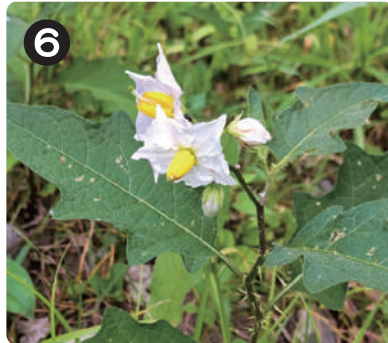
7/12 シロテンハナムグリ 樹液に多く集まる甲虫の一種。カナブンに似るが、翅に白い斑模様がある点で識別できる。



7/12 アオサギ 陽に当たって日光浴をしていた。体内の熱を逃がすためか、くちばしが開きっぱなしになっていた。



7/12 ミドリシジミ シジミチョウの一種で、水元公園では数は多くない。翅の表側は光沢のある緑色をしている。



7/12 ワルナスビ 水元公園全体で見られる。茎や葉には大きなトゲがあるので要注意。



7/13 ゴマダラチョウ シロテンハナムグリと共に、クヌギの樹液に集まって、一心不乱に樹液を吸っていた。



7/13 クズ 高木も覆うほど生い茂るつる性植物。昨年は8月中旬頃に開花したが、今年は既に開花が始まっていた。



7/8 シオヤアブ 時にはスズメバチも捕えるムシヒキアブの一種。コフキトンボを捕らえ、体液を吸っていた。

専門員コラム 「ハエやアブがはえ〜理由」

シオヤアブは、ムシヒキアブ科という肉食性のアブの一種で、飛んでいる獲物を背後から奇襲して捕えます。時にはスズメバチでさえ捕えますが、先日はコフキトンボを捕えていました(9)。

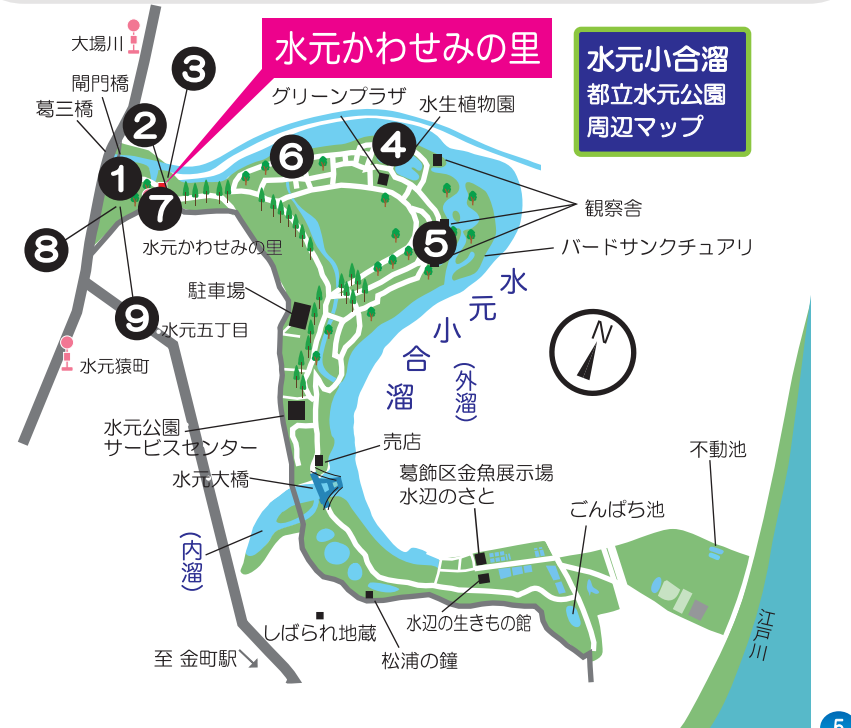
昆虫の中でも特に飛行能力の高いトンボを捕えるとは、さすがに驚きました。アブをはじめ、ハエ目の昆虫の翅は、前翅の2枚しかないのですが、その飛行能力の高さは一体どこからくるのでしょうか?

実は、後翅の2枚は「平均棍(へいきんこん)」という棍棒状の器官に変化しており、ここで体の回転やバランスなどを敏感に察知しています。それによって、彼らは安定した高速飛行や俊敏な飛行を行うことができるそうです。

2枚の翅を失って、むしろ飛行能力が向上するとは驚きですが、昆虫の体には、他にも思いもよらない様々なメカニズムが隠されています。そうした秘密を紐解いていくと、彼らの生活がより深く見えてきて、観察が一層楽しくなってきます。(小林)



前翅の下にある棍棒状のものが平均棍



2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

ボランティア活動報告

キッズボランティアで水元公園のハイキングを行いました！

6月25日に、キッズボランティア活動で「水元公園の歴史」をテーマにハイキングを行いました。水元公園の昔と今の風景を比べながら、かつて田畑や湿地の広がっていた水元公園の自然や、地域の人々の暮らし、都市公園として整備されてきた現代までの変遷などを学びました。



昔の風景写真が撮影されたのと同じ場所へ行き、現在の風景と比べました。何が変わったかな？



風景写真は、葛飾区郷土と天文の博物館で所蔵されているものを借用させていただきました。



ボランティアの皆さんからも、当時の様子を教えてもらいました。



メタセコイアの森で昼食休憩♪ 広い日陰はいい避暑地でした。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 7月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

7月の見頃

ヤブカンゾウ

中国原産のワスレグサ属の一種です。根は『萱草(かんそう)』、蕾は『金針菜(きんしんさい)』という生薬になり、利尿作用や不眠症、解熱などに効くとして、日本に持ち込まれたものが野生化しました。似た花にノカンゾウがありますが、こちらは一重咲きで、ヤブカンゾウは八重咲きになる点で見分けられます。



野草園マップ



見られるポイントはココ！